

## 令和元年度 第1回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 令和元年5月21日（火） 午後2時～午後5時

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】 〈委員〉

河原 郁子〔とよた下まちおかみさん会 平成30年度会長〕  
首藤 政俊〔市民公募〕  
杉山 裕貴〔市民公募〕  
新田 都子〔高岡地域消費者グループ代表〕  
馬場 英喜〔豊田信用金庫 中小企業診断士〕  
松永 郁也〔豊田商工会議所 常議員〕  
元岡 征志〔シー・プロジェクト代表 中小企業診断士／社会福祉士〕  
脇田 弘久〔愛知学院大学商学部 教授〕

〈事務局〉

早川 正文〔豊田市産業部商工振興室長〕  
近藤 孝浩〔豊田市産業部商業観光課課長〕  
吉野 佑美〔豊田市産業部商業観光課担当長〕  
山崎 雄〔豊田市産業部商業観光課主査〕

【傍聴者】 なし

【次 第】

開 会

- 1 委嘱状交付
- 2 委員紹介・あいさつ
- 3 開会
- 4 商工振興室長あいさつ
- 5 事務局紹介
- 6 委員長及び副委員長の互選
- 7 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 8 議事
- 9 その他

## 【会議録（要約）】

### 8 議事

#### （1）商店街等活性化計画の中間報告について

#### ア 稲武商工会

稲武商工会から説明を受け委員から意見を聴取した。

##### 委員

人材育成事業に参加したのは何店舗か。

##### 稲武商工会

8店舗が参加した。

##### 委員

1年では効果が出ない。2、3年続けて効果が出てくる。引き続き検証しながら前向きに続けてほしい。

##### 委員

消費者は商品についての物語を求めている。地域の誰が作った物という物語があって、社会に還元されていると消費者も嬉しいと思う。地域活性化にもなる。

##### 委員

以前、稲武へ行った時に、道の駅以外でお弁当を買おうと個店に入った。地元の人以外で、誰が店に入って来たのだろうという店員の視線が感じられた。入りやすいお店になると消費者としては利用しやすい。

#### イ 西町商店街協同組合

西町商店街協同組合から説明を受け委員から意見を聴取した。

##### 委員

街路灯 LED 照明に設備投資をした商店街としての結果や効果は。

##### 西町商店街

西町商店街は、明るいまちだと評価を受けている。  
街路灯には、防犯カメラを設置し、防犯カメラ作動中と表示している。

##### 委員

西町商店街は、豊田市民より市外からの来訪者が多いのか。

##### 西町商店街

市外からの来訪者の方が多い。  
以前は「はしご酒」というイベントを行い、たくさんの人に商店街を利用してもらった。

**委員**

今年は飲食イベントを行うのか。

**西町商店街**

当商店街は、飲食店が半数以上を占めている。

ラグビーワールドカップに向けて、インターネットを利用して商店街の案内をしていく予定である。

**委員**

1年を通じて外部の人の意見を聞く機会があったのか。

**西町商店街**

年末売出しの抽選会でアンケートを行った。

はしご酒のイベントは復活するのかという意見をもらった。

## **ウ 豊田市山之手発展会**

豊田市山之手発展会から説明を受け、委員から意見を聴取した。

**委員**

山之手発展会の場所はどのあたりか。

**山之手発展会**

三河豊田駅から広範囲。以前は3つの団体に分かれていたが、山之手発展会はそのうちの一つの団体が母体となっている。

発展会に加入して、どのようなメリットがあるのかと聞かれると困ってしまうが、社会貢献やまちを明るくするというメリットがあると伝えている。

会員の店舗が点在しているので、売り出し等は効果的な実施が難しい。

魅力ある全国チェーンの店が加入してくれると華やかにはなるが、山之手地域の独自性が薄まってしまう意見もある。

**委員**

加入している25店舗の店主の平均年齢は。

**山之手発展会**

大半が65歳以上。30代後半の若い人が3、4人いる。平均年齢は60歳くらい。

**委員**

経営者個人ではフェイスブックはできないのか。

**山之手発展会**

各個人でフェイスブックのIDを持っている人もいる。

各個店だけでなく、個店が連携して、面として進めていきたい。

山之手で店を出したいと思ってもらうことを目標としたがうまくできなかった。

**委員**

20代はインスタグラム、30代～50代はフェイスブックの利用が多い。年代によって使う媒体が違う。60代～70代の経営者がたくさんいるということを強みにして情報発信していくと面白い。

**委員**

フェイスブックは、効果があったのであれば、持続していくとよい。個店の情報が発信され、自分の店にメリットがあれば、発展会に入ろうかと考える人が増えると思う。前向きに考えている店にいかに協力してもらえるかを考えたほうが良い。

**(2) 豊田東豊商店街振興組合 商店街等活性化計画の策定について**

豊田東豊商店街振興組合から説明を受け委員から意見を聴取した。

**委員**

加入店舗 18 店舗のうち役員は何名か。

**豊田東豊商店街**

役員は 7 名。加入店舗数は以前の 2 割程度まで減少した。会員には、様々な業種があり、総会の時間によっては出席できない会員がある。

**委員**

美里ふるさと祭りはいつから開催しているのか。

**豊田東豊商店街**

5 年前から行われている。

**委員**

ふるさと祭りは年に何回やるのか。

**豊田東豊商店街**

年に 1 回。  
住民は、近隣の地域のお祭りを知らないこともあり、色々なお祭りの内容を集めたお祭りとして、ふるさと祭りは行っている。

**委員**

地元にいながら、イベントのチラシに気づかないこともある。

**委員**

イベントで顔なじみになることができるので、続けてほしい。

**豊田東豊商店街**

限られた店舗しかイベントに出店できていないので、多くの会員に参加してもらい、住民と顔なじみになってほしい。

**委員**

お店の店頭チラシを設置するだけでなく、回覧板での回覧も有効だと感じている。

**豊田東豊商店街**

回覧も利用しているので、引き続き続けていく。

**委員**

この地域は、こども園、小学校が比較的多い。

商店街の人がお揃いのジャンパーを着て、子供の見守り活動を行うと、住民と顔なじみになると思う。

**委員**

200 店舗のうちの 18 店舗しか加入がないということで未加入店舗によっては困ったことがないのか。

アンケート等を実施して、加入していない店舗のニーズが聞けると良いと思う。